

農業委員会だより



こうたい
**皇大神社祭礼
太刀振り**
(大宮町河辺)

明治時代に宮津の府中から伝承されたと伝わり、かつては10月10日を本祭りとしていましたが、現在は10月の3連休中に行われています。今年も1章から5章まである高度な太刀振りが皇大神社の秋祭りで奉納されました。【写真提供 吉岡 長治さん(河辺)】

● 目 次 ●

- 2~3P **農を語る** まんぐるわ三重・森本
代表 田崎 由美子さん
- 4P
・意見書の提出
・【予告】農業委員会委員の募集について
- 5P
・利用権設定における賃借料のお知らせ
・農地パトロールを行いました !!

=京丹後アグリ瓦版=

- 6P
・秋祭り ◇間人けんか祭り(丹後町間人)
◇春日神社秋祭り(網野町島津)
・農業者年金加入推進研修会
- 7P
・京丹後紀行／^{りよう}俚謡(民間のはやりうた)～峰山町ー丹波～
・いも掘り体験
- 8P
・郷土料理／おにぎり
・農業者年金に加入しましょう



木製の型枠を使って手際よく湯がいていきます

しています。会員同士で種まきの時期、野菜の成長や消費者が求める野菜などについても勉強しています。今、わたし達のグループでは200種類ぐらいの野菜を作っています。それを、毎週日曜日に大阪の天王寺に出荷しています。「京丹後の野菜は美味しい。ピーマンも甘くて丸かじりできる。」と言って、野菜が届く日を楽しみにして下さっているお客さんが増えてきています。聞いて嬉しくなっています。

また、毎月第3土曜日の午前8時から「軽トラ朝市」を京丹後大宮インターチェンジ出入口の三重側で平成29年7月から始めました。天気が良い時には目印に鯉のぼりをあげています。まだ、1年が経ったところで試行錯誤しながら

らですが、来て下さるお客さんも少しずつ増えてきたかなと実感しています。「朝市で買ったかぼちゃは美味しいと言って、主人が食べてくれました。」「この前買ったしいたけ美味しかったわ。今日も買いに来たで。」と言ってくださるお客さんの声にとっても励まされ元気を貰っています。

加工品も今は、手づくりコンニャクを中心に、ハヤトウリや大根などの醤油漬け、きゅうりの粕漬けなどを作って販売しています。加工施設がないため、限られた物しか作れませんが、「三重・森本に行けば美味しい野菜や加工品がある。」とお客様に言っていただけ様々に日々努力していきたいです。

今後は、計画的に安定した野菜づくりを行い、商品に付ける「ロゴマークも作りたいね。」とみんなで話し合っています。

野菜づくり、軽トラ朝市、出荷、加工品づくりとすることが多くありますが、スムーズに出来る様に分担し、より良い方法を見つければ、一歩ずつ前に進んで行けたらと考えています。

まだまだ、スタートしたばかりのわたし達で、課題も多く先が見えませんが、わたし達が作った野菜や加工品を買って下さるお客様のことを常に考え、いろんな方から情報や

アドバイスを頂き、また、わたし達も出かけて行き、身体を通して日々学んで行きたいと思っています。

わたし達一人一人が充実した毎日を通して、笑顔忘れず、楽しく生きがいのある地域づくりに貢献できるよう頑張っています。

みなさん軽トラ朝市にぜひ来てくださ。お待ちしております。

【取材を終えて】

地域の良さと、仲間との和（輪）を表わす「まんぐるわ」素敵な名前ですね。

わたし達も応援しています。

取材：鴨田 忠司委員



まんぐるわ三重・森本のメンバー

全国農業新聞を購読してみませんか？



全国農業新聞は公的機関である農業委員会系統組織が発行する週刊の農業総合専門紙です。「週刊」ということから日々の報道には限界がありますが、むしろ週刊の時間を活かし、大切な情報をわかりやすくまとめています。

また、多くの読者の皆様に満足して頂けるよう、家族全員が楽しめる記事も充実しています。さらに、全国47都道府県にある支局の充実により、地域の元気で特徴ある面白い話題や地域独自のイベント情報などの提供に努めています。購読の申込みは京丹後市農業委員会へお気軽に連絡ください。

週刊 金曜日発行 月700円、年8,400円(消費税込み)

農を語る

こだわりの野菜と加工品
そして“笑顔”で
まっています！

まんぐるわ三重・森本

代表 田崎 由美子 さん
たさき ゆみこ

「まんぐるわ三重・森本」です。「まんぐるわ」とは、「ぐるり」「すべて」「丹後弁で「みんな一緒」という意味です。わたし達は、低農薬・有機質肥料を使ったこだわりの野菜と加工品を作った販売している、女性を中心にしたグループです。

わたし達が住んでいる三重・森本は、周囲を山に囲まれた田園風景がとても美しい自然豊かな地域です。竹野川の上流に位置し、内山ブナ林から流れるきれいな水で育てられた美味しいお米は地域の自慢です。平成28年10月30日に山陰近畿自動車道が開通し、京丹後の車の玄関口になりました。春には、鯉のぼりがたくさん青空で気持ち良く泳いでいる地域です。

少子高齢化が進む中、この地域に住んでいる人達が楽しく暮らせて、活気ある地域になるように、三重・森本里力再生協議会を中心に京都府、京丹後市の関係者、龍谷大学の先生・学生の協力や支援を得て平

成28年10月に「まんぐるわ三重・森本」を立ち上げました。

わたし達のこだわり野菜づくりの1つ目は「土づくり」です。EM菌によるぼかし肥料は龍谷大学の学生に協力して貰い大量に作ります。土の中に混ぜ込んだり、追肥として使っています。これは、甘くて美味しい野菜づくりに大いに役立っています。また、竹チップも作り草が生えにくくするために畝に敷いたり少し混ぜたりして使っています。

他にも学生とは、化学肥料・有機質肥料の違い、農薬についてなど、農法の勉強会も始めています。

2つ目は、安心・安全な「低農薬での野菜づくり」です。農薬を使わないのでキャベツに青虫がいっぱいいたり、白菜がレースのようになってしまったりとなかなか大変です。そこで、苗作りの時期を考えたり、苗と苗の間にニラやネギ、マリーゴールドなどを植えて虫がこないように工夫したり、ネキリ虫よけに卵の殻を置いたり、ドクダミを敷いたりと色々工夫しています。

現在会員は11名ですが、みんな野菜づくりは素人です。そのために丹後農業改良普及センターから講師の先生に来ていただき野菜づくりの基本を教えて貰い勉強しています。

また、身近に居られる地域の先輩の方々に作り方を教えて貰ったりも

利用権設定における賃借料のお知らせ

平成29年1月から12月までに締結（公告）された賃借権における賃借料水準（10a 当たり）は、以下のとおりとなっております。
この賃借料情報はあくまで目安です。貸し手と借り手が十分に話し合い、お互いが納得できる額で設定して下さい。

情報



〔単位：円〕

1 田(水稲)の部

締結(公告)された地域名	平均額	最高額	最低額	データ数(筆)	備考
峰山町	7,400	13,000	4,400	55	
大宮町	7,300	13,000	2,000	83	
網野町	11,100	13,300	6,600	29	
丹後町	8,000	10,500	3,500	50	
弥栄町	8,200	13,000	2,500	44	
久美浜町	8,000	17,000	1,000	341	
(参考)京丹後市平均	8,000			602	

2 畑の部

〔単位：円〕

締結(公告)された地域名	平均額	最高額	最低額	データ数(筆)	備考
峰山町	15,000	15,000	15,000	15	国営農地
大宮町	10,000	10,000	10,000	140	国営農地
網野町	13,000	20,000	8,600	19	一般畑 国営農地
丹後町	0	0	0	0	
弥栄町	14,800	15,000	10,000	25	国営農地
久美浜町	8,900	21,200	5,000	53	国営農地
(参考)京丹後市平均	10,700			252	

※農業委員会では、現在契約中で終期を迎える利用権の設定に係る終期通知書を耕作者に送付しています。
お手元に通知書が届きましたら、引き続き利用権設定の更新にご協力ください。
また、契約をされずに耕作されている農地がありましたら、利用権の設定をされるよう手続きをお願いします。

農地パトロールを行いました!!

11月1日、農業委員による市内の一斉農地パトロールを行いました。このパトロールでは、農地法に基づく許可案件（3条・4条・5条・形状変更）が適正に利用されているか、また違法転用が行われていないかなどを確認しました。

他にも、久美浜町で廃園となった果樹園を耕作放棄地再生事業を使い、砂丘畑として蘇り、ビニールハウス7棟が設置されたほ場を確認し、併せて耕作者から説明も受けました。（右写真）

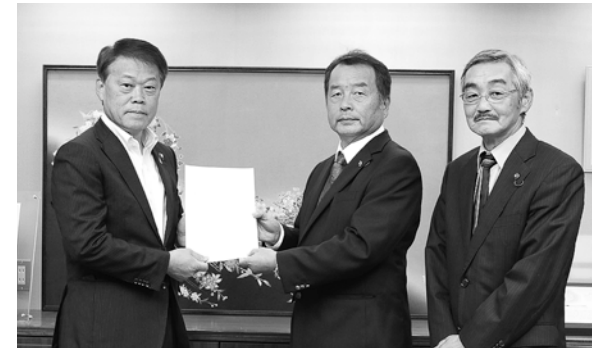
農業委員会では、今後も適正な農地の権利移動や利用がされるよう、引き続き農地パトロールを行います。皆様のご協力をお願いします。



平成30年度

意見書を提出しました

農業委員会では、農地等の利用の最適化の推進に関する事務を効率的かつ効果的に実施するため、梅田会長と吉岡職務代理が代表して、10月10日に三崎市長へ意見書の提出を行いました。



1 水田農業の担い手対策と農地利用について

- (1) 認定農業者や農業法人等の担い手が、地域の枠を越え農地利用が図れるよう施策を講じること。
- (2) 水田の担い手不足を解消するため、農業後継者や農業生産組織への支援と、5年後、10年後を見据えた認定農業者の確保と新規就農者を育成する施策を講じること。

2 畑作農業の担い手対策と農地利用について

- (1) 国営開発農地の畑地不足の解消対策として、水田の畑地化を検討するなどの対策を講じること。
- (2) 丹後農業実践型学舎修了生が、安定的な農業経営を行うことができるよう、きめ細かいサポート体制を構築すること。
- (3) 新規就農の際に必要な機械・施設等の整備費用を助成する施策を講じること。

3 優良農地の確保と有効利用について

- (1) 農道、水路等の農業用施設の整備と大区画圃場整備等の土地改良事業の推進とともに、小規模基盤整備（畦畔撤去）等の簡易な事業の導入と事務手続きの簡素化を図ること。
- (2) 災害により被害を受けた農地・農業用施設について、営農に支障が出ないように、早期の復旧に努めること。
- (3) 多面的機能支払交付金事業の事務の簡素化を図ること。

4 京丹後市産農産物の認知度の向上について

- (1) 京丹後市の知名度を全国及び海外に周知するための施策が重要であることから、市職員が営業マンであるという自覚を持ち、各部署総力を挙げた周知活動、販売戦略を進めること。
- (2) 市内産農産物の更なる認知度向上と消費拡大を図るため、関係機関が一体となり地域ブランド化、産地化を推進する施策を講じること。
- (3) コシヒカリに代わる新品種の早急な開発を京都府へ要請すること。

5 野生鳥獣被害対策について

- (1) 防護柵等の設置に係る地元負担の軽減措置を講じること。
- (2) 積極的な駆除を進めるため、地元の協力体制と狩猟免許取得の支援や捕獲員の確保対策を講じること。
- (3) 捕獲個体の処理を行うための具体的な施策を進めること。

6 実施体制の強化について

- (1) 各種施策を実施するために農林部局内の職員体制を整備強化すること。
- (2) 平成21年度の農地法の抜本改正、平成27年度の農業委員会等に関する法律の改正にともなう事務量の増加に対応するため、農業委員会事務局職員の定数を満たすこと。

予告 農業委員会委員の募集について

農業委員及び農地利用最適化推進委員の任期(3年)が平成31年6月末を以って満了することに伴い、平成31年4月に農業委員19名・農地利用最適化推進委員33名の募集をします。応募については、3月末頃発行の農業委員会だよりやホームページで行います。

【問 農業委員会事務局 ☎69-0040】





「丹波は禿山ばかりで、山に木も草もなかるうが。」と唱うのに対し、「新田が多いから暮らし良いぞ。」と返している。子供の口げんかにも似ていて面白おかしい。

ソーラン節や、相馬盆唄、草津節、佐渡おけさ、宮津節、デカンショ節、炭坑節などのように全国

（返した）

〽嫁にやるなよ 丹波の郷へ
山に木はなし 草はなし
年貢いらすの田がござる

〽嫁においでよ 丹波の郷へ
山に木はなし 草ないけれど
年貢いらすの田がござる

京丹後紀行

俚謡

（民間のはやりうた）

～峰山町―丹波～

的に名が知られ、有名な歌手も歌う民謡よりも、ひなびた田舎うたは、より地域に密着していて興味深いものがある。

また、このようなものもある。

〽矢田や丹波の郷の 天酒さまの
お下通るも ありがたや

矢田の矢田神社と丹波の多久神社（宮司 今西義樹氏）の祭神、豊宇賀能売命は、酒造りを教えたとされる羽衣天女、すなわち天酒大明神とされる。

近年、地元では氏子有志十八人で「丹波の郷あまさか倶楽部」が結成され、酒米作りに励んでおられる。造酒は弥栄の竹野酒造に依頼し、平成二十五年には全国酒類コンクール純米吟醸部門で、見事一位の栄誉を受けられた。

暑いときの除草作業など苦勞の末の芳醇な『自分たちだけの酒』は、旨さもひとしお。

「酒を酌み交わしながら、歴史、文化、それに四方山話に花が咲き、まさに至福の刻です。」と倶楽部代表の山本武彦さんは語られた。

今宵は私も、旨し酒「天酒大明神」をご相伴にあずかるとしよう。

文 鴨田 忠司



いも掘り体験

10月初旬、農業委員の川瀬明美さん（久美浜町箱石）の砂丘畑で、チャイルドハウス保育園（兵庫県豊岡市）の園児たちがサツマイモ掘りを体験しました。園児たちが横一列に並び、小さな手で砂をかき分け、たくさんの芋を付けた株を掘り出して大喜び。大きな芋や小さな芋もあり、園児や先生たちは大きな笑い声でサツマイモ掘りを楽しんでいました。



たいざ
間人けんか祭り

丹後町間人では、勇壮な屋台の巡行と、向地の交差点で繰り広げられるけんか屋台が有名で、漁師町の気質が感じ取れます。

秋祭り

今年の秋祭りは台風の通過に伴い開催が心配されましたが、日にちの変更など行っ

春日神社秋祭り

（網野町島津）

島津の秋祭りでは、威勢の良い神輿の巡行が行われました。

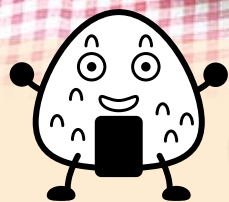
農業者年金加入推進研修会

9月27日開催された、一般社団法人 京都府農業会議主催の農業者年金加入推進研修会に於いて、平成29年度の新規加入者が5名と多かったことから、加入促進に尽力した山副農業委員が京丹後市農業委員会を代表して講演を行いました。



農業者年金加入推進研修会で講演を行う山副農業委員

郷土料理



おにぎり

今回の郷土料理は、広報編集委員会において、新米を一番美味しく頂くのは「おにぎり」に限るという事で、委員各自が思い思いのおにぎりを握って持ち寄りました。

丸や三角、四角などいろいろな形が揃い、おにぎりだけど握らない「おにぎらず」も登場しました。

ほかには、定番の塩や梅干、赤米や地海苔を使ったおにぎりなどが出揃いました。

米の消費が落ちている中、おいしくて、手軽にできるおにぎりで消費の拡大をはかりたいですね！



農業者年金に加入しましょう

- ① 農業従事者なら広く加入できます
(60歳未満、国民年金1号被保険者、60日以上従事)
- ② 保険料は自分で選べ、いつでも見直しできます
(月2万円～6万7千円の間で千円単位)
- ③ 税制面で大きな優遇措置があります
(保険料は全額社会保険料控除の対象になります)
- ④ 積立方式、⑤ 終身年金、⑥ 保険料の国庫補助(要件有)

私たちも入ってます。



梅田和男さん・直子さん夫妻
(網野町網野)